

令和7年度消防操法競技会 訓練の成果 存分に発揮



競技結果

▶自動車ポンプの部

順位	分団名	タイム (第1線)	タイム (第2線)	総得点
1位	第1分団	54"92	61"67	188.5
2位	第15分団	50"48	65"94	175.5
3位	第5分団	55"27	66"15	164.0

▶小型ポンプの部

順位	分団名	タイム	総得点
1位	第6・7分団	43"57	90.5
2位	第18分団	47"40	88.0
3位	第9分団	47"47	88.0

令和7年度町消防操法競技会が5月31日、総合運動公園駐車場で開催されました。選手たちは積み重ねてきた訓練の成果を遺憾なく発揮し、正確かつ迅速な操作を披露しました。

競技には自動車ポンプの部に7隊、小型ポンプの部に9隊が出場。競技の結果、自動車ポンプの部は第1分団が、小型ポンプの部は第6・7分団が堂々の優勝に輝きました。

7年連続の優勝となった第1分団指揮者の近藤桂太さんは「地域の皆さんには日頃から消防団活動を支えていただいている。地域の安全安心を守るため、これからも頑張りたい」と感謝と抱負を述べ、初めて合同チームで出場した第6・7分団指揮者の上野司さんは「合同チームになり人数が増えたことで、それぞれが準備や練習に集中することができた。また第6分団と第7分団の結束が強くなったことも結果に結びついた」と今大会の成果を話し、充実した表情を見せました。

地方創生伴走支援制度の対象市町村に選定 国の職員と共に課題解決へ

地方創生伴走支援とは？

国の中央省庁の職員が課題を抱える中小規模自治体に向いて、地方創生の取り組みを支援する制度。具体的には中央省庁の職員がこれまでの職務経験などを生かして関連施策や支援制度、各地の好事例などを自治体職員と共有し、共に課題解決に取り組むというもの。伴走支援チーム

は、各府省庁から公募により集まった職員から構成され、自治体の課題に合わせてマッチングされます。

葛巻町が対象市町村に

本制度の初年度となる令和7年度は、全国184自治体の応募から60市町村が選定され、岩手県では本町と大船渡市が選定されました。本町では5月25日から28日



町の担当職員との意見交換

まで伴走支援チームの3人の職員が訪れ、①脱炭素②地域交通③教育の3分野の課題解決に向け、町の様子や問題などを把握するため、施設視察や町の担当職員との意見交換を行いました。

伴走支援職員に本町出身者

文部科学省の泡淵さんは新町地区出身で「町を離れて約30年。修行してきたことを生かせる機会を与えられて感謝している。今回の滞在で熱意を持っている町だと感じた。私たちが関わることによって皆さんからも力をもらい、相乗効果で元気に与えられるような関係になりたい」と抱負を話しました。

本町の伴走支援チームの皆さん

総務省 地域力創造グループ
地域政策課
課長 橋本 憲次郎 さん



文部科学省 総合教育政策局
地域学習推進課 家庭教育支援室
室長補佐 泡淵 栄人 さん



環境省 大臣官房
地域政策調整担当 参事官室
係長 伊藤 淳朗 さん



総会の様子とあいさつする觸澤副町長（円内）

くずまき観光地域づくり協議会（会長・觸澤義美副町長）の令和7年度総会が5月22日、協議会員やアドバイザーなど約30人の出席のもと、まき×まきホールで開催されました。

総会では3月18日に開催したくずまきDMO活動発表会での成果報告も踏まえながら、令和6年度の事業を報告しました。観光・交流促進部会では特産品を活用した体験型観光モニターツアーを実施。初めて葛巻高生



くずまき観光地域づくり協議会

成果の見える化でさらなる推進

が企画や運営に携わり、高校生ならではの発想で、ツアーを盛り上げるなど新たな取り組みも行いました。

令和7年度はアドバイザーの特定非常利活動法人いわて地域づくり支援センターの広田純一さんや株式会社JTB盛岡支店の西谷泰生さんからの助言なども受け、成果の見える化を図り、町内外に協議会の活動や成果を広く伝え、さらなる取り組みの推進に努めることが確認されました。

観光で葛巻町を元気にするために 一緒に活動してみませんか？

- 観光・交流促進部会
- まちなか賑わい創出部会
- 関係人口創出部会
- 若者・高校生部会

興味がある人は下記までお気軽にお問い合わせください。

圓いらっしゅい葛巻推進課 ☎65-8983